

歯の数と全身の健康

Q3. < 歯科医療充実による総医療費への影響 >

「歯科医療が充実し、口腔の健康が保たれる（残存歯が多い）と総医療費が少なくなる」というデータが数多く存在しているのをご存じですか？

020 運動実績調査結果

—兵庫県歯科医師会と WHO 神戸センターとの共同研究結果から—

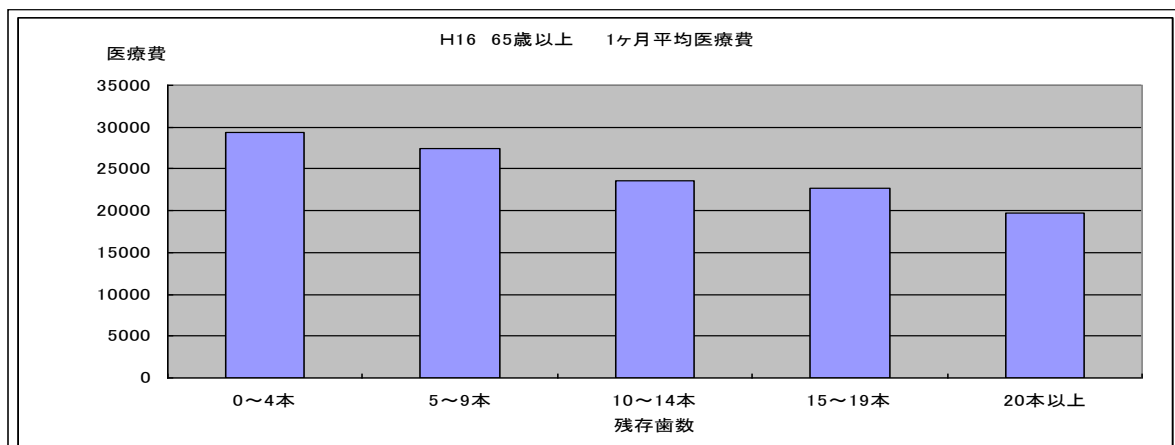
残存歯数と診療費との間には統計的関係が認められた。

年齢と性別による影響を制御した上での共分散分析によって、残存歯数が 0 本の高齢者の診療費は残存歯数が 25 本以上の高齢者の診療費に対して月に 1 万円以上多かった。

兵庫県国民健康保険団体連合会

自分の歯が 20 本以上残っている 70 歳以上のお年寄りには、4 本以下と比べ、身体の病気で費やす医療費が 1 か月、平均約 9000 円も少ないことが、兵庫県国民健康保険団体連合会などの調査で分かった。

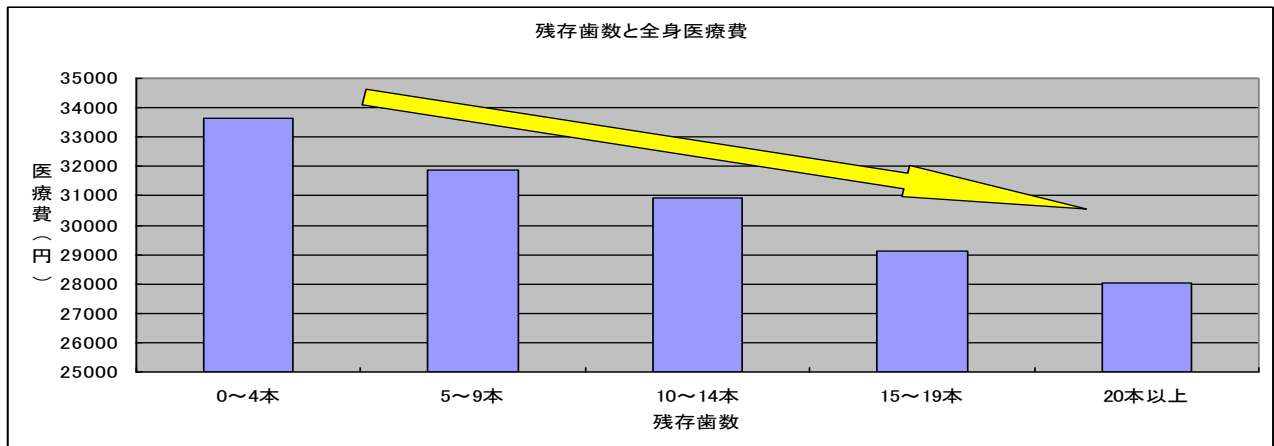
残存歯数が多いほど、神経や循環器などの病気で通院する日数が少なく、歯と身体の健康の密接なかわりが明らかになった。



東北大調査：歯が少ないと医療費高額に

残っている歯が少ないほど 1 か月間の平均医療費（歯科を除く）は高くなることが、50 歳以上の約 3 万人を対象とした渡辺誠・東北大大学院教授（加齢歯科学）らの調査で分かった。

歯が 4 本以下しか残っていない人は、20 本以上の人に比べ約 5600 円も高かった。歯の本数と医療費との関係の大規模な調査は例がなく、渡辺教授は「歯に気を使う人は全身の健康に対する意識も高く、医療費を抑えることにもつながっているのではないかと分析している。



香川県歯科医師会 高齢者の年間医療費、歯の残り数少ないほど高額

残存歯数が4本以下の高齢者の年間医療費は、20本以上残っている高齢者に比べて平均で約25万円高くなっていることが21日、香川県歯科医師会の調査で分かった。歯周病がある人の医療費はない人よりも平均で約7万8000円高くなっており、歯の健康と全身の健康の密接な関係を裏付けている。

歯周病との関係では、症状が重度になるほど医療費は高く、歯周病のある人（平均52万1000円）は、歯周病のない人（同44万3000円）の約1・2倍。高血圧や糖尿病などの生活習慣病にかかる医療費も、歯周病が重度になるほど高くなる傾向で、歯科予防活動が医療費削減につながる可能性を示唆している。

病気診療費：歯が20本以上残る70歳以上の高齢者、37%少なく

◇ 道国民健康保険団体連合会が調査

20本以上の歯が残る70歳以上の高齢者は、4本以下の人に比べて全身の病気に関係した診療費が37%も少ないことが道国民健康保険団体連合会（札幌市中央区）の調査で分かった。虫歯のない人や歯周病でない人も安く済んでおり、歯は体全体の健康に結びつくことが統計的に立証された。

同会は07年5月の道内の歯科レセプト6万4132件、医科レセプト10万3418件を利用し、患者の歯の状態と診療費を調べた。20本以上の歯を持つ人の割合は30%で、診療費は2万2660円だった一方、4本以下は22%で同3万5930円だった。歯が多いほど診療費が安くなる傾向が明確に表れた。

虫歯のない人は2万6410円、治療済みの人は2万7120円とほぼ同額だが、治療をしていないと3万290円と高くなった。歯周病のない人は2万4170円なのに対し、中程度かかっている人は2万6240円、重度は2万7920円と次第に高くなった。